

## 表紙の写真

## ～わんこそば～

わんこそばの歴史は、370有余年の昔にさかのぼります。南部家第27世利直公が江戸に上られる途中、花巻にお立ち寄りになられた折、旅のつれづれをなぐさめようと郷土名産のそばを差し上げたところ、利直公はその風味をたいへんお気に召され何度もおかわりをされたと伝えられ、その際、そばを上品に椀に盛って差し上げたところから「わんこそば」と称されるようになったといわれております。

毎年、建国記念日の2月11日には「わんこそば全日本大会」が開催され、制限時間の5分内に何杯食べられるかを競う競技に、全国からたくさんの大食い自慢が集まり、応援団や見物客で賑わいをみせます。